

# 水の恐さを知ろう

## 安全第一をモットーに

忘れてませんか？ライフジャケット



(財)和歌山県水上安全協会  
和歌山警察本部・各警察署

## ごあいさつ

近年、高齢者が関係する犯罪や交通事故が増加傾向にありますが、本県の水の事故も平成19年から高齢者が犠牲者となる事故が、急増してきており、今後、高齢化社会が進むにつれて更に増加することが心配されます。

高齢者の皆さんの中には、体力に自信のある方もおありのことと存じますが「転ばぬ先の杖」とでも申しましょうか、現在の自分の体力、技術を再認識して、無理をせず安全第一をモットーにレジャーを楽しもうではありませんか。

この高齢者(65歳以上)の水の事故発生状況を、高齢者やそのご家族の皆さんにご覧いただき、少しでも水の事故防止の一助となれば幸いです。

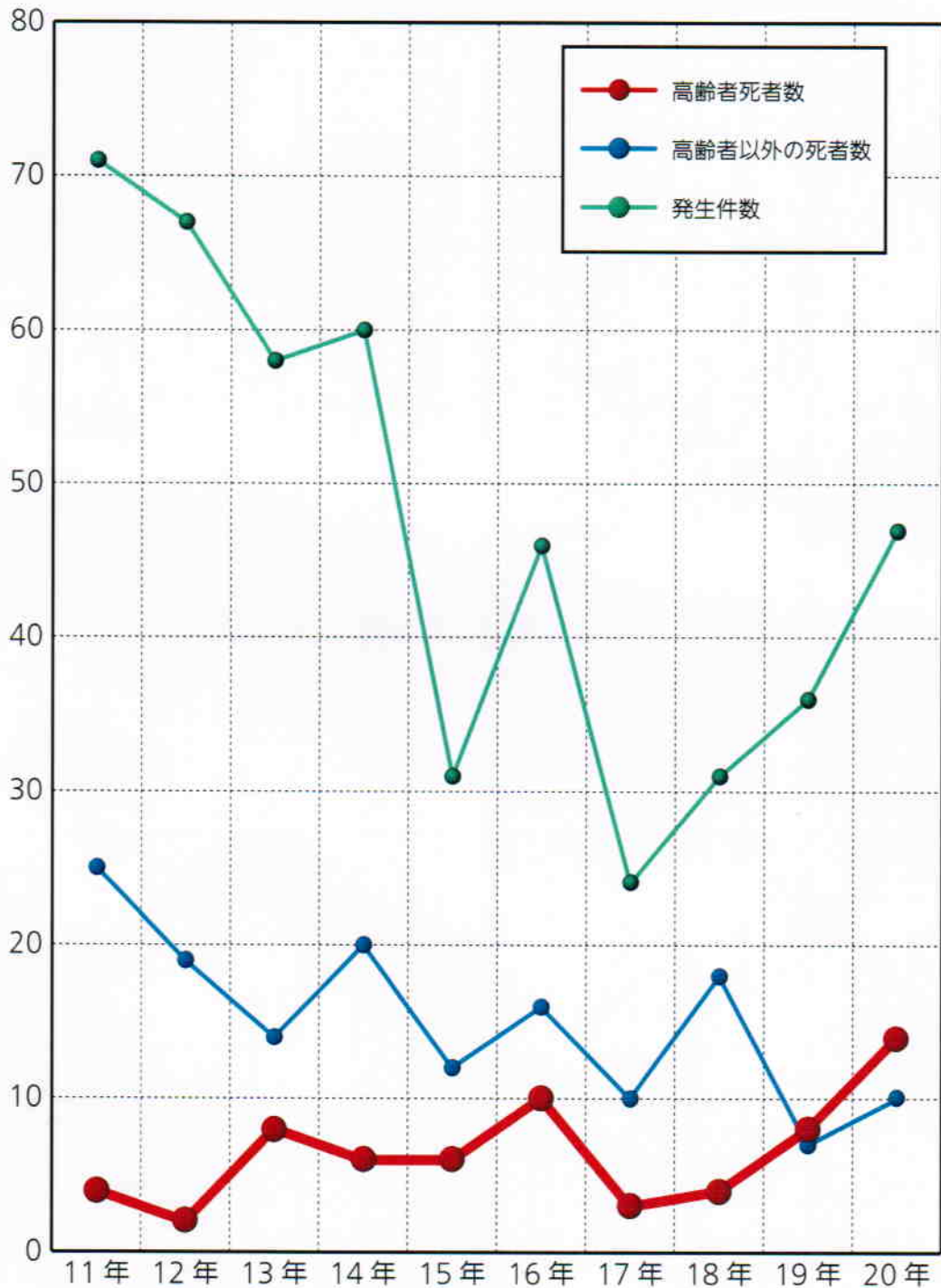
財団法人 和歌山県水上安全協会  
理事長 木下 泰明

## 高齢者の水の事故原因

- 日頃から高血圧などの持病を持っているにもかかわらず少し無理をして魚釣りなどに出かけている。
- 早朝、夜間、危険な場所に一人で釣りや貝採りに出かけている。
- 増水した川や流れの早い深みで魚釣りをしている。
- 死亡した人の多くは、ライフジャケットを着用していない。
- 周囲の状況を十分把握せずに船等の操縦・操作をしている。

# 1 過去10年間の水の事故発生状況(和歌山県)

区分 / 年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
発生件数	71	67	58	60	31	46	24	31	36	47
高齢者以外の死者数	25	19	14	20	12	16	10	18	7	10
高齢者死者数	4	2	8	6	6	10	3	4	8	14
死者数(合計)	29	21	22	26	18	26	13	22	15	24

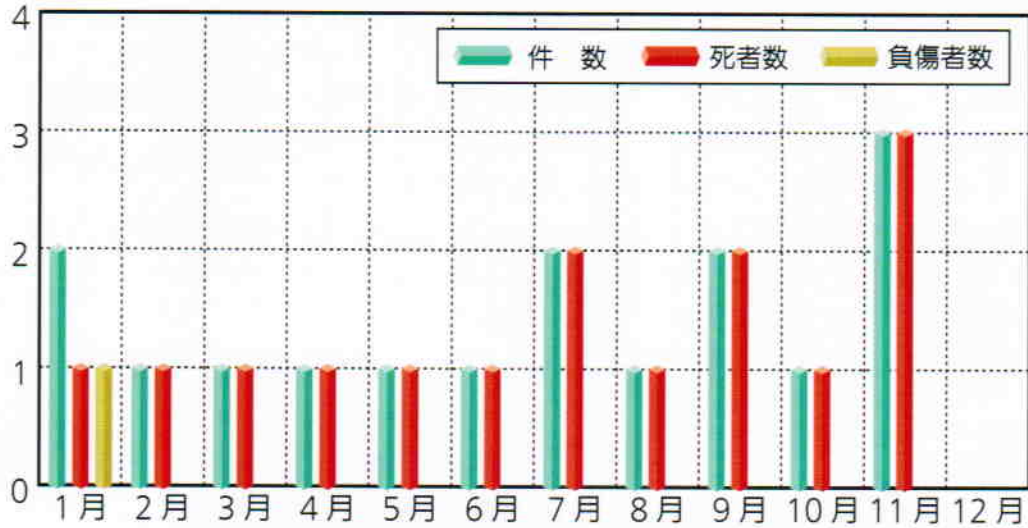


●発生件数は平成11年をピークとして、減少傾向で推移 ●高齢者死者数については平成20年は急増

## 2 平成20年高齢者(65歳以上)の水の事故発生状況

### 【1】月別発生状況

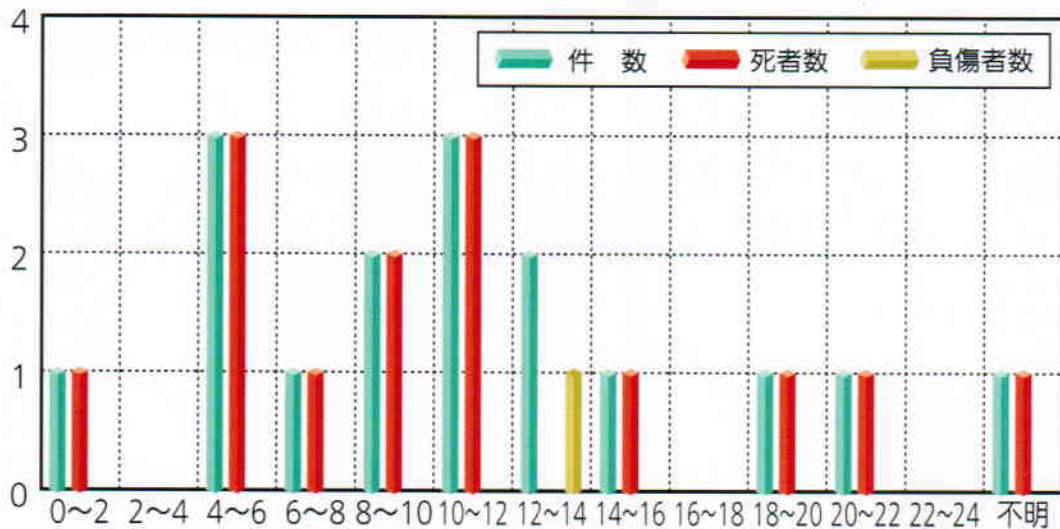
区分/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件数	2	1	1	1	1	1	2	1	2	1	3	0	16
死者数	1	1	1	1	0	1	2	1	2	1	3	0	14
負傷者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



●7~9月の夏期と11~1月の冬期が多発傾向。

### 【2】時間別発生状況

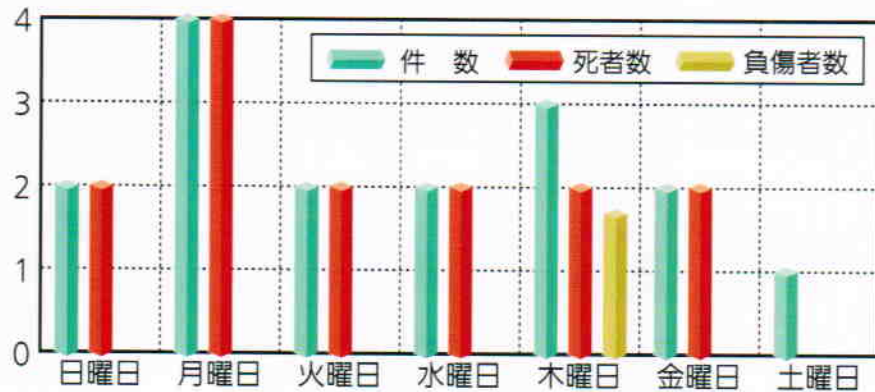
区分	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	不明	合計
件数	1	0	3	1	2	3	2	1	0	1	1	0	1	16
死者数	1	0	3	1	2	3	0	1	0	1	1	0	1	14
負傷者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1



●夜明け前の4~6時、昼食前の10~12時に多発。

### 【3】曜日別発生状況

区分/曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
件数	2	4	2	2	3	2	1	16
死者数	2	4	2	2	2	2	0	14
負傷者数	0	0	0	0	1	0	0	1

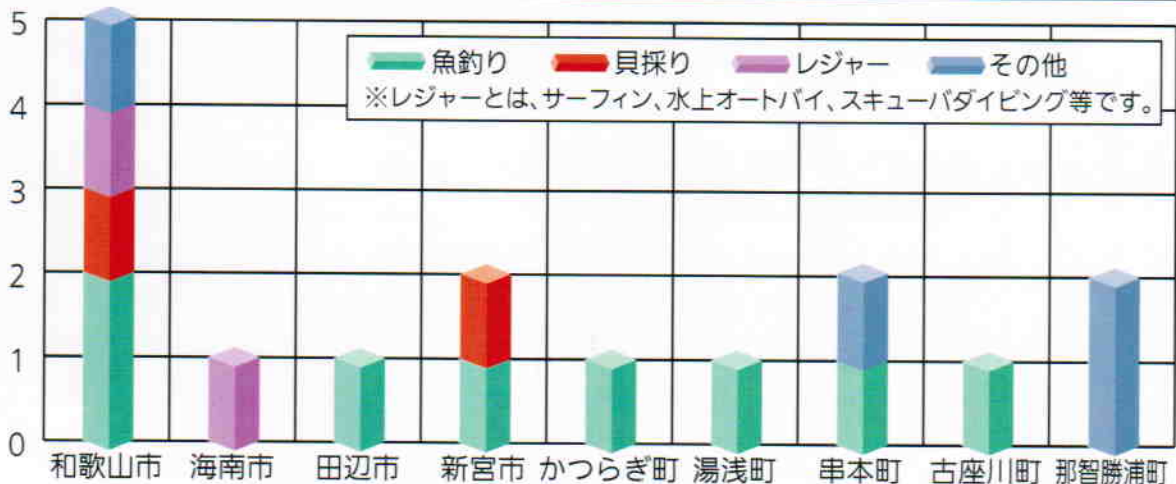


●休日明けの月曜日に多発傾向。

### 【4】場所別発生状況

◎市町村別

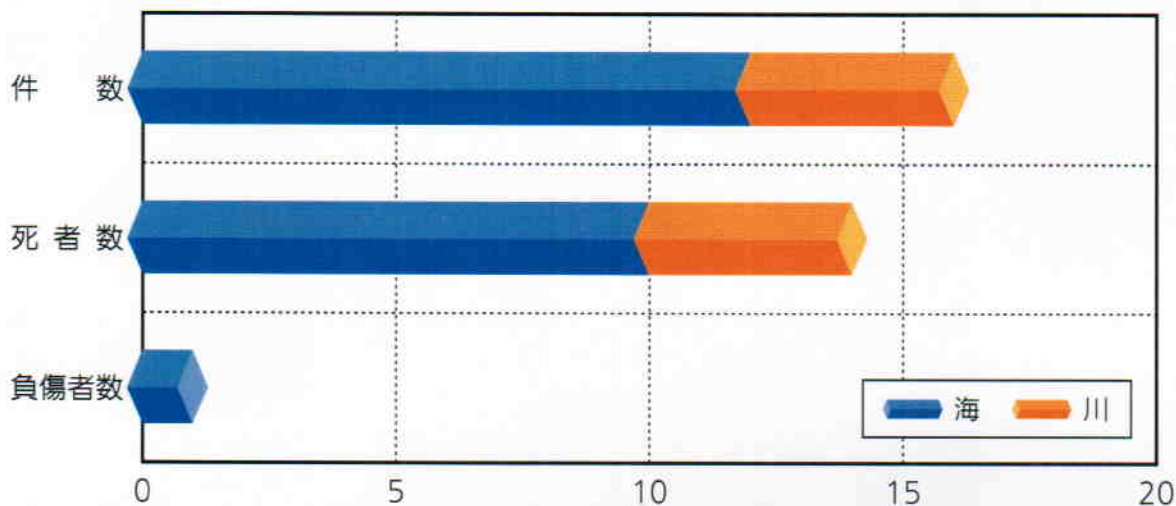
区分/行為	魚釣り	水泳等	貝採り	レジャー	その他	発生件数	構成率(%)
和歌山市	2	0	1	1	1	5	31.25
海南市	0	0	0	1	0	1	6.25
田辺市	1	0	0	0	0	1	6.25
新宮市	1	0	1	0	0	2	12.50
かつらぎ町	1	0	0	0	0	1	6.25
湯浅町	1	0	0	0	0	1	6.25
串本町	1	0	0	0	1	2	12.50
古座川町	1	0	0	0	0	1	6.25
那智勝浦町	0	0	0	0	2	2	12.50
合計	8	0	2	2	4	16	100.00



●和歌山市、串本町、新宮市で約56%の発生。上記以外の市町村での発生は無し。

◎海、川等別

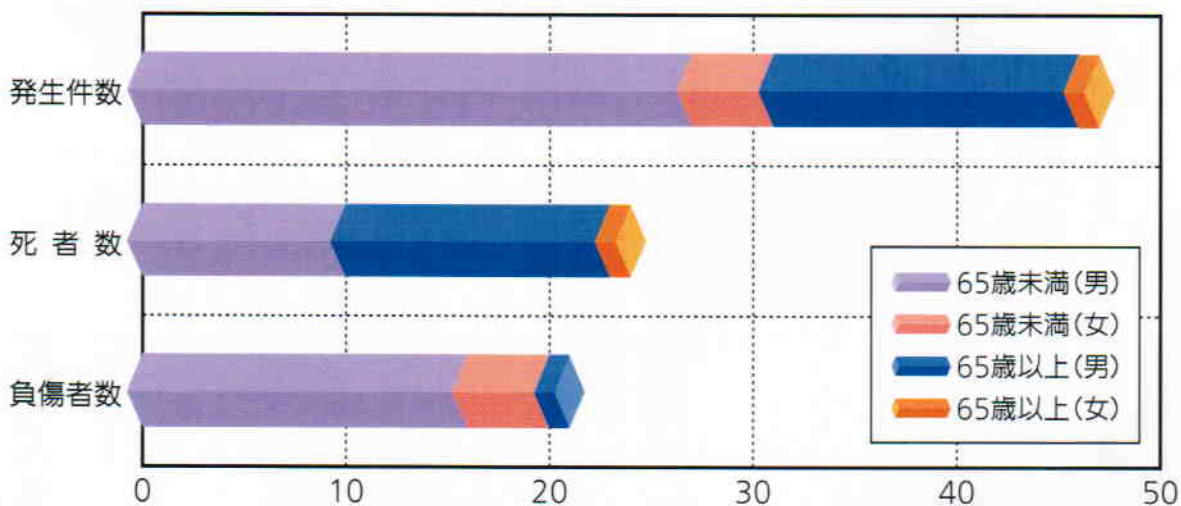
区分/場所	海	川	その他	合計
件数	12 (75.0%)	4 (25.0%)	0	16
死者数	10 (71.5%)	4 (28.5%)	0	14
負傷者数	1 (100%)	0 (0.00%)	0	1



●海での発生が7割を占める。

【5】年令・男女別発生状況

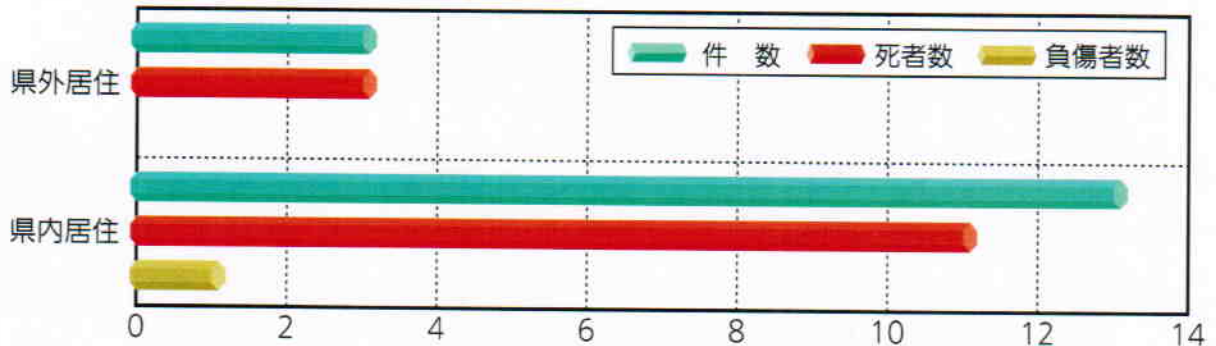
区分/年齢	65歳未満 内(女性)	65歳以上 内(女性)	合計 内(女性)
件数	31 4	16 1	47 5
死者数	10 0	14 1	24 1
負傷者数	20 4	1 0	21 4



●発生件数47件のうち、女性は5件。女性の死者は1人で9割は男性。高齢者についても同様の傾向。

### 【6】県内外の居住別発生状況

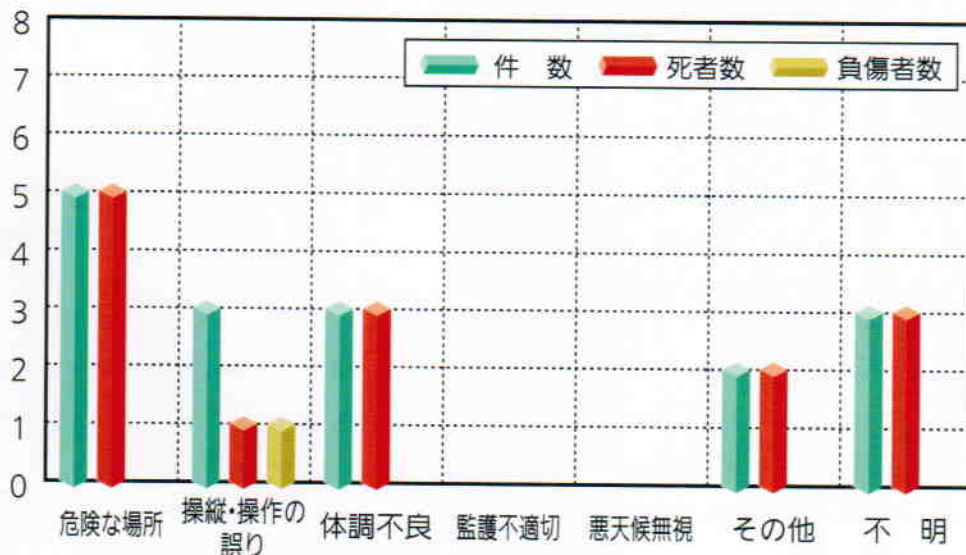
区分	県外居住	県内居住	合計
件数	3	13	16
死者	3	11	14
負傷者	0	1	1



●発生件数、死者ともに約8割を県内居住者が占める。

### 【7】原因別発生状況

区分	危険な場所	操縦・操作の誤り	体調不良	監護不適切	悪天候無視	その他	不明	計
件数 (構成率)	5 31.25%	3 18.75%	3 18.75%	0 0%	0 0%	2 12.50%	3 18.75%	16
死者 (構成率)	5 35.71%	1 7.14%	3 21.43%	0 0%	0 0%	2 14.28%	3 21.43%	14
負傷者 (構成率)	0 0%	1 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1



●危険な場所や体調不良時の釣り、船等の操縦ミスによる事故が多発。

釣りをしている時は  
ライフジャケットを  
着用しています。



有田川漁業協同組合  
理事 東尾 忠さん

潜る時は体調に  
気をつけています。



海女さん  
谷口千代美さん

海女さん  
山口美代子さん

## 高齢者の皆さんへのお願い

近年、高齢者の水難事故が増加しています。次の事項を守って楽しいレジャーに努めましょう。

1

体調の悪いときは  
魚釣りや貝採りなどに出かけない

2

危険な場所での魚釣りや  
天候の悪い日の魚釣りはしない

3

早朝、深夜  
一人での釣りはしない

4

お酒を飲んで泳いだり  
スキューバダイビング  
などはしない

5

プレジャーボートや水上バイク  
などに乗る場合や釣りをする場合は  
必ず救命胴衣を着用する

6

レジャーに出かける場合は  
必ず家族に行き先、帰宅時間などを  
告げ、携帯電話を携帯する